

岡山県の地震

令和7年(2025年)9月

目 次

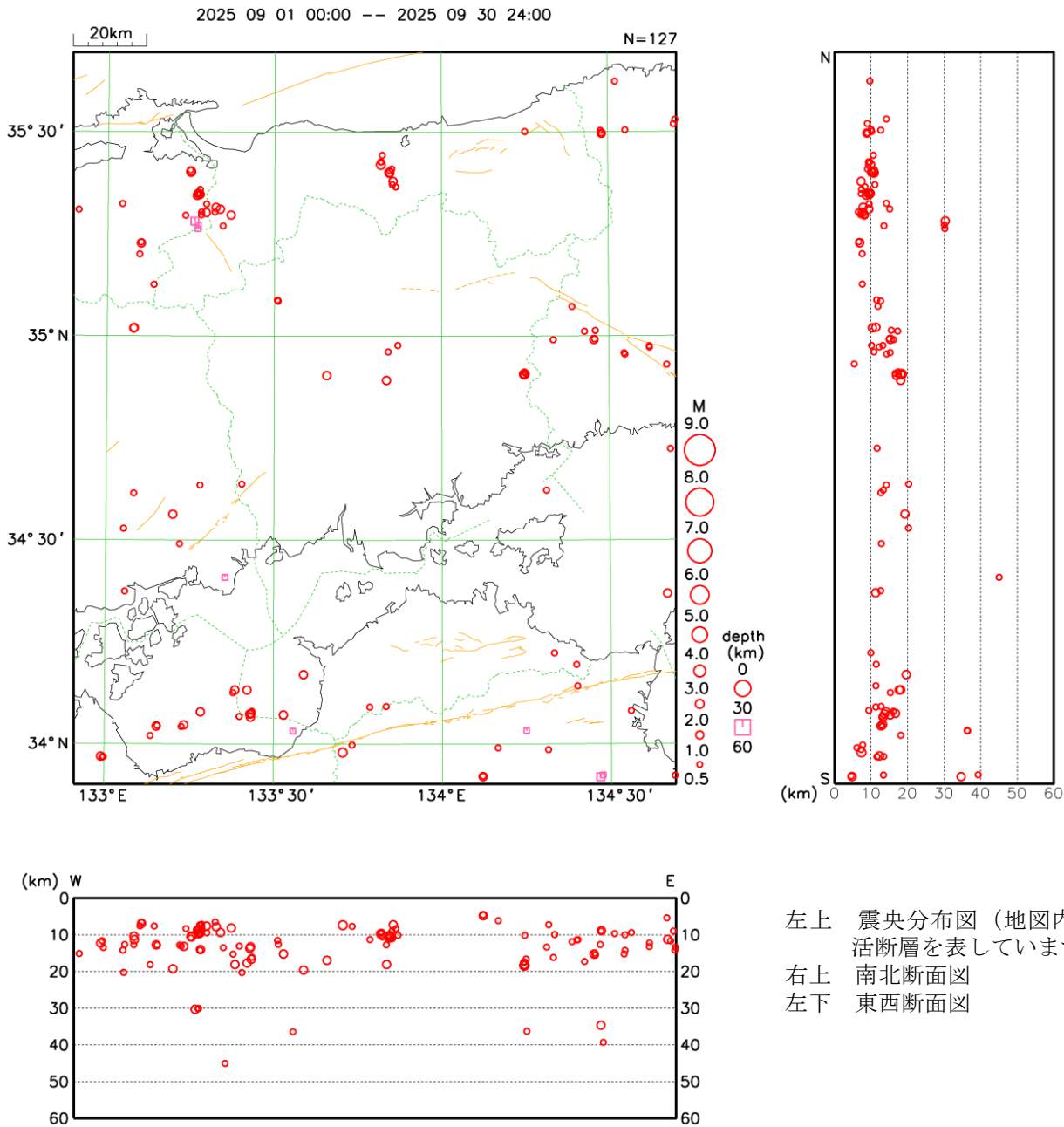
○岡山県及びその周辺の地震活動（9月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.237	
11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」	… 2

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(9月)

震央分布図及び断面図



左上 震央分布図（地図内の細線は活断層を表しています。）

右上 南北断面図

左下 東西断面図

概況

9月の概況

- ・ 9月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は0回（前月：0回）でした。

11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」

○「津波防災の日」・「世界津波の日」とは

平成23年(2011年)の東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸を襲った津波によって多くの人命が失われました。これを受けて、平成23年(2011年)6月に津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、その中で毎年11月5日が「津波防災の日」と決められています。また、平成27年(2015年)12月の国連総会で日本をはじめ世界142か国が共に提案し、11月5日が「世界津波の日」と制定されました。



「世界津波の日」ロゴマーク

○安政南海地震と「稲むらの火」

この日は安政元年(1854年)の安政南海地震で和歌山県を津波(右図)が襲った際の「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。「稲むらの火」は、濱口梧陵が安政南海地震発生後の暗闇の中、津波から逃げ遅れた人たちを、稲に火を付けて高台に導き救った実話をヒントに、島根県ゆかりの文学者でありNHKの連続テレビ小説「ばけげん」の主人公の夫のモデルである小泉八雲ことラフカディオ・ハーンが著した「A Living God(生き神様)」を、中井常蔵が小学生にも分かる短い作品としたもので、不朽の防災教材として今も語り継がれています。

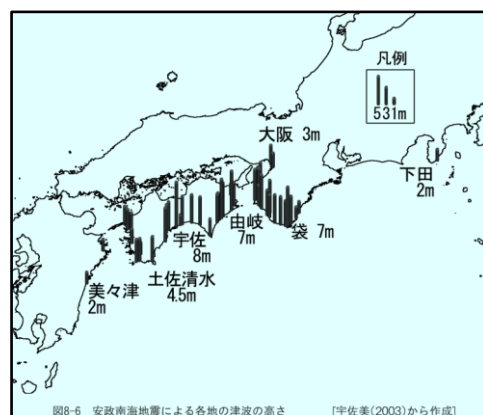


図8-6 安政南海地震による各地の津波の高さ [宇佐美(2003)から作成]
安政南海地震による各地の津波の高さ
地震調査研究推進本部「日本の地震活動」より

○津波防災について考えましょう

この日を中心に津波対策について国民の理解と関心を高めるため、全国各地で防災訓練やシンポジウム等が開催されています。いつ起こるか分からない地震や津波から命を守るために何が必要かをあらためて考え、行動する日にしましょう。

(参考)

気象庁「津波から身を守るために」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html

内閣府「津波防災特設サイト」

<https://tsunamibousai.jp/>

和歌山県有田郡広川町「稲むらの火の館」

<https://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

気象庁「稲むらの火」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami/inamura/p1.html>

11月5日(水)緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

地震による揺れから身を守ることが、地震・津波防災の第一歩です。緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでのごく短時間に、慌てずに身を守るなど適切な行動をとるためには、訓練を通して実際に行動しておくことが重要です。このため、緊急地震速報を見聞きした際の行動を確認するための全国的な訓練を、内閣府、消防庁及び気象庁は、平成20年度より年2回、国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。

今年度2回目の訓練は、「津波防災の日」・「世界津波の日」の取組の一環として、令和7年11月5日(水)に実施します。訓練の詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/eew/kunren/2025/kunren.html>



気象庁マスコットキャラクターはれるん